

## アメダス 地点情報履歴ファイル（詳細版）

■収録内容

全国の地域気象観測所の履歴情報を収録している。

■ファイル名

amdmaster.index4

■レコード仕様

記録形式：テキスト（CSV）形式

レコード長：263 バイト+改行コード（改行コードは気象業務支援センターを通じての利用者：0D0A(16進数)、その他の利用者：0A（16進数））

ソート順序：観測所番号、観測開始年月日

■記録形式

◆レコード全体構造

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
項目	観測所番号	観測所名 (漢字)	観測所名 (カナ)	観測所名 (ローマ字)	積雪の 観測所名 (漢字)	積雪の 観測所名 (カナ)	積雪の 観測所名 (ローマ字)	観測地点を 代表する 緯度	観測地点を 代表する 経度	観測地点を 代表する 標高	風向風速計 の高さ	予備	予備
バイト	5	20	15	30	20	15	30	6	7	4	5	5	6
開始バイト	1	7	28	44	75	96	112	143	150	158	163	169	175

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
積雪の 観測地点の 緯度	積雪の 観測地点の 経度	積雪の 観測地点の 標高	降水量の 統計の有無	風の 統計の有無	気温の 統計の有無	日照時間の 統計の有無	積雪の 統計の有無	予備	湿度の 統計の有無	観測開始 年月日	観測終了 年月日	旧観測所番 号	降水量の 統計接続
6	7	4	1	1	1	1	1	1	1	10	10	5	2
182	189	197	202	204	206	208	210	212	214	216	227	238	244

28	29	30	31	32	33	改行 コード
風の 統計接続	気温の 統計接続	日照時間の 統計接続	積雪の深さ の統計接続	予備	湿度の 統計接続	
2	2	2	2	2	2	
247	250	253	256	259	262	

※それぞれの項目の間にはカンマ(1バイト分)が入る。

## ◆データ説明

- 項目（8）（9）（14）（15）の「緯度」と「経度」は、小数第3位までを入力している。
- 項目（10）（16）の「標高」は、メートル単位の整数で入力している。
- 項目（11）「風向風速計の高さ」は、メートル単位で、小数第1位まで入力している。
- 項目（17）～（23）は、各観測測器の設置の有無を表し、設置されていない場合は「0」、設置されている場合は「1」。ただし、項目（20）「日照時間の統計の有無」は気象衛星のデータ等から作成した推計値を格納する場合は「2」。
- 現在の観測所情報は、項目（25）「観測終了年月日」が「9999-99-99」になっている行に記述されている。
- 項目（26）「旧観測所番号」は、累年統計が接続する旧観測所の番号。観測所番号の変更がない場合には項目（1）「観測所番号」と同じ値が記述されている。
- 項目（27）～（33）は、「旧観測所番号」（観測所番号に変更がない場合は現観測所番号）との間の統計接続の可否を示す。
  - 0：月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。
  - 1：月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来 of 平年値は用いない。
  - 4：（項目28）最大風速のサンプリング間隔の変更（10分毎→1分毎）、観測単位の変更（1m/s⇒0.1m/s）。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。最大瞬間風速の統計開始。
    - （項目29）最高・最低気温のサンプリング間隔の変更（10分毎→10秒毎）。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
    - （項目30）回転式日照計への切替をした。月・年等の各種統計値、極値統計を接続する。平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
  - 5：（項目28）最大風速のサンプリング間隔の変更（10分毎→1分毎）、観測単位の変更（1m/s⇒0.1m/s）。同時に観測所が移転等したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来 of 平年値は用いない。最大瞬間風速の統計開始。
    - （項目29）最高・最低気温のサンプリング間隔の変更（10分毎→10秒毎）。同時に観測所が移転したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来 of 平年値は用いない。
    - （項目30）回転式日照計への切替と同時に観測所が移転したため、月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来 of 平年値は用いない。
  - 6：（項目30）気象衛星のデータ等から作成した推計値へ変更した。補正量が大きいため月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。ただし、平年値には補正した累年値から求めたものを用いる。
  - 7：（項目30）気象衛星のデータ等から作成した推計値へ変更した。補正量が大きいため月・年等の各種統計値、極値統計を切断する。従来 of 平年値は用いない。観測開始時には、旧観測所番号に現在の観測所番号を入れ、各要素とも「1」または「5」または「7」とする。